



木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2020年2月9日(日) 9:30~12:00(晴)

参加者 一般:3名(うち子ども0名)、

指導員:3名

テーマ 「春の兆しを感じよう！」

集合場所で温度計を見たら2°Cで風も強く、体感気温は氷点下といった感じで、テーマとは程遠い寒さの中の観察会でした。それでも、陽射しからは何となく春が近いと感じられます。

先月蕾が膨らんでいたトサミズキの花を見に川原に下りましたが、気温があまり上がらなかったのか、1か月たってもまだ開花間際といったところでした。

大野極楽寺公園のミヤマウグイスカグラは先月より開いている花の数が増えていました。その近くではヒメオドリコソウやオオキノフグリといった春先の花が咲き、陽だまりではニホンタンポポ、ホトケノザ、ミチタネツケバナも開花していました。

途中、キツネの巣穴を見ましたが、公園管理者に埋められた後、またキツネが掘り始めていました。付近にはモグラ塚もたくさん見られ、よほどこの場所が気に入っているものと思われます。

その近くに、11月に梱包用緩衝材(いわゆるプチプチ)を裏張りした紙をコモ巻のように木の幹に巻いて、どんな生き物が入るかみていましたが、開けたところ昆虫はいなくて、アリグモとハエトリグモの仲間(ネコハエトリか?)が見られただけでした。

鳥はというと、この時期、ツグミやシメなどは群で行動しています。駐車場に植えられたクロガネモチに、ヒヨドリ、ムクドリとともにツグミが実を食べに来ていましたが、川原に飛来し、ネムノキの枝に同じ方向を向いてじっと止まっていました。また、公園のエノキには50羽程のシメの群がいて楽しませてくれました。

堤防道路を歩いている時にはチョウゲンボウが低空を飛び、草原ではセイタカアワダチソウの実をついばむベニマシコに出会い、さらに、モクバラの池ではカワセミが枝に止まっていました。寒さのためか羽毛を立てて丸くなっていて、10m程に近づいても飛び立たなかったため、じっくりと見られました。この日は寒さに震えながらも、日頃あまり目にしない野鳥も観察できたことが幸運でした。(報告:齋竹)



(シメの群を観察中)

<その他観察できたもの>

鳥:カワラヒワ、ホオジロ、メジロ、トビ、キジバト、ヒヨドリ、ジョウビタキ、ハクセキレイ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ウグイス(声)、セグロセキレイ(声)



まもなく咲くトサミズキ



ミヤマウグイスカグラの花



並んで止まったツグミ



間近に見られたカワセミ